

第3の



来館した親子連れを見守る青

個人情報管理 議論十分に



感にならないように」というルールのもと、読書したり積み木で遊んだり、自由に過ごす。おしゃべりや飲食もOK。子どもたちが一緒にお菓子を食べ、ごみの片付け方を話し合う姿も見られるという。

コロナ禍で

開設のきっかけは新型コロナ

情報が流出したときのリスクがとて大きいのがデジタル社会です。

コロナ禍で身近な生活のデ

間送っていました。それこそ、朝起きてから深夜まで、ツイッターでつながった友達と趣味の話をしたり、学校の愚痴をつぶやいたりしていました。

このような生活を通して気づいたことがあります。自分では気をつけているつもりでも、ネット中心の生活をずっと送っているとだんだん感覚が鈍くなり、「これくらいならいいか」という気持ち萌芽え、個人情報の流出に対する危機感が薄れてしましました。近所のカフェの写真や、親の帰宅時間などを軽率に載せるようになっていきました。

知らない間に個人情報が流出していた、自分で情報を管理・コントロールできなくなっていた、ということがないよう、デジタル化の推進には十分な議論をしてほしいと思います。

上田有紀さん

四月十四日、デジタル改革関連法案が参院で審議入りしました。デジタル化による利便性の向上などの目的が報じられていますが、



大学生日記

7

デジタル改革関連法案の議論に注目する上田さん

写真で住所を特定され、スリーカー被害にあうニュースもあるので、気をつけなければなりません。便利な半面、

(専修大文学部四年)

4日の感染者 214人 ※経

居住地別累計感染者	人数	備考
横浜市	23074	(98)
川崎市	9767	(49)
相模原市	3292	(5)
横須賀市	2144	(5)
藤沢市	2265	(7)
茅ヶ崎市	1104	(7)
平塚市	965	(2)
鎌倉市	760	(3)
小田原市	601	(1)
逗子市	272	
三浦市	161	(1)
秦野市	500	(1)
厚木市	1487	(3)

川崎の港守る「かもめ」

市の巡視船完成3隻

川崎市港湾局の新巡視船「かもめ」(一九九)が完成した。職員の習熟訓練を



完成した川崎市の新巡視船「かもめ」(市提供)

経て五月初旬から始し、川崎港の施設の破損点検、帰宅困難者や物流出の処理など対応に当たる。

かもめはアル長さ約十七呎、内には二十五座席・トイレと用者対応のバリ図った。座席は倒して水平にでの傷病者や緊急送にも対応できた放水銃で、きた場合に攪う。

建造から四